



杉浦 愛

UNESCO 科学プログラム専門員

【略歴】

杉浦愛博士は、2023年2月よりユネスコ東アジア地域事務所(北京)にて科学プログラム専門員を務めている。国際水文学計画(IHP)、人間と生物圏計画(MAB)、国際地球科学およびジオパーク計画(IGGP)などの主要プログラムの実施を担当し、南南協力、オープンサイエンスの推進、若者や女性の科学分野への参画強化に注力している。

以前は、ユネスコジャカルタ事務所で科学政策および能力開発専門員(2017年から2023年まで)を務めていた。また、日本のユネスコ後援機関 水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM)で、洪水リスク管理を専門とした業務や、インドネシアにおける排水管理の研究に従事していた。さらに、日本の政策研究大学院大学(GRIPS)で防災管理に関する講義を行っていた。

杉浦博士は、ベルギー・ジャンブルー大学で農学修士号、フランス・パリ第6大学で水文学修士号、英国クランフィールド大学で水衛生・再利用博士号を取得した。博士研究では、EU プロジェクト「Water Renew」の下、再生可能エネルギー作物を用いた革新的な排水処理を取り扱った。現在、英国キングス・カレッジ・ロンドンにて心理学、神経科学、精神衛生学の修士課程にも在籍している。